**僕の絵・自分の世界３２**

**四月になってすぐの夜明け前**

**友人、大先輩が逝ってしまった**

**先輩が聞いた**

**自分の世界を描き始めたころの自分の心を明かす**

**『何もこだわらずに自由に描きたい。**

**この世のどこにもない世界、**

**この世にひとつきりの、自分の世界を**

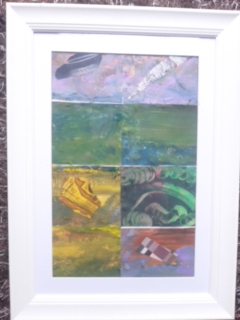
**描きたいと思ったのです』　　　まど・みちお**

**祈る**

**自分の世界が慈雲の世界に消えた**

**あの世界みちお・画**

**梵学にきけ　神に問う**

**どこへみちお・画**

**小雨降る春の日**

**旅立ちは春とは限らない**

**今日からまた新しく生きよう**

**自分の世界をつくって　描き続けることにした**

**雨が上がって　いい気分　なのに**

**自分の世界には軍艦が動く**

**みちお・画**

**戦争は知らないとは言えない**

**体験はないが語られた歴史が体験のように記憶を植えつける**

**だから知らないとは言えない**

**みちお・画**

**春が夏になって　前橋は30度を超えている**

**こんな四月　こんな春があったろうか**

**桜の花びらがテニスコート一面に吹き散らす**

**春の夏　自分の世界が赤く燃えている**

**みちお・画**

**夜の刻になれば　厚もののジャンパーをはおり**

**春の宵に月を見る**

**世界は戦争が始まろうとしているの**

**ああ　先週の日曜日はイースターだった　　　祈る**

**みちお・画**

**四月の夏の日に　命を終わろうとしているチュッリップ畑を訊ねる**

**自分の世界が自分でコントロールするのに難しいほど**

**忙しい**

**自分で自分を忙しくする**

**みちお・画**

**花を見て新緑に目をみはり**

**自分の世界を見つめ直して　「できることをしよう」**

**こころを彩で描き　落ち着かせ　励まし　鞭を打ち　生きる**

**明日はメーデーである、誰のために自分のためにか「はたらく」・・・**

**みちお・画**

**平成二十九年四月　詩日**

**みちお（七十四歳）**